

第31回読売新聞社杯全日本選抜競輪（G I）開催要綱より抜粋

第10 参加選手数及び選抜方法

1. 参加選手数

- (1) 正選手 S級 108名
- (2) 補欠選手 S級 8名

開催2日前までに正選手に欠場がある場合は、順次補欠選手から補充し、残りは予備選手とする。

2. 選抜方法

第31回読売新聞社杯全日本選抜競輪（G I）開催時にS級に在籍し、品性、技能ともに優秀な選手を次の基準により、選手選考委員会において選抜する。

(1) 正選手の選抜方法

- ① S級S班在籍者。
- ② 全日本選抜競輪に3回以上優勝した者（開催時にS級1班に在籍）。
- ③ 前記①から②により選抜された者を除く、各登録都道府県における、平成27年6月から11月までの期間（以下、「選考期間」という。）の平均競走得点が第1位の者。

ただし、開催時にS級1班に在籍している者であり、第31回読売新聞社杯全日本選抜競輪（G I）選手選考委員会開催時において1年以上同一の都道府県に在籍している者に限る。

- ④ 前記①から③により選抜された者を除く、別表に定める全国8地区ごとの選考期間における平均競走得点の上位選手各3名。
- ⑤ 残余は選考期間における平均競走得点上位者。

(2) 補欠選手の選抜方法

前記(1)⑤に準じ、順次選抜する。

(3) 特別選抜予選競走に出場する選手（27名）の選抜方法

前記(1)により選抜された正選手の中から次の基準により順次選抜する。

- ① S級S班在籍者。
- ② 選考期間における平均競走得点上位者。

なお、欠員が生じた場合は、上記基準に基づき、順次繰り上げ選抜する。

(4) 選考期間における平均競走得点が同点だった場合の取り扱い

選考期間における平均競走得点が同点だった場合は、同期間における選考用賞金獲得額上位者を上位とする。

【別表】

地区	都道府県
北日本	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・東京・山梨・長野・新潟
南関東	千葉・神奈川・静岡
中部	愛知・岐阜・三重・富山・石川
近畿	福井・滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口
四国	香川・徳島・高知・愛媛
九州	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄